

湯河原ロータリークラブ創立30周年

(登録 13:00~14:00)

記念式典プログラム (1992. 4. 19 (日) 14:00~15:00)

第1部 式典

- | | | |
|----------------------|---------|-------|
| | 司会式典幹事 | 八亀 義臣 |
| 1. 点 鐘 | 会長 | 高知尾朝行 |
| 2. 開式のことば | 実行委員長 | 稲葉 隆 |
| 3. 国歌斉唱「君が代」 | ソングリーダー | |
| 4. ローターリーソング「奉仕の理想」 | 吉光 関爾 | |
| 5. 来賓・招待者紹介 | 会長 | 高知尾朝行 |
| 6. 会長挨拶 | 会長 | 高知尾朝行 |
| 7. 物故会員に対する黙祷 | 会長 | 高知尾朝行 |
| 8. 式典委員長挨拶 | 式典委員長 | 岩井徳太郎 |
| 9. 記念事業発表 | 記念事業委員長 | 伊藤 邦彦 |
| 10. 目録贈呈 | 式典委員長 | 岩井徳太郎 |
| 11. 記念表彰・感謝状贈呈 | 会長 | 高知尾朝行 |
| 12. 来賓祝辞 第2780地区ガバナー | 山道昭彦殿 | |
| 13. 創立時分区代理 | 岩崎裕倅殿 | |
| 14. スポンサークラブ会長 | 土屋賢太郎殿 | |
| 15. 湯河原町長 | 丸山孝夫殿 | |
| 16. 祝電披露 | 式典SAA | 土肥 野修 |
| 17. 閉会のことば | 式典副委員長 | 近藤 保 |
| 18. ローターリーソング「我等の生業」 | ソングリーダー | 吉光 関爾 |
| 19. 点 鐘 | 会長 | 高知尾朝行 |
| 20. 諸事のお知らせ | 式典SAA | 土肥 野修 |

第2部 祝宴

16:00~17:50

- | | | |
|------------------------|----------|-------|
| | 司会 祝宴委員長 | 浅田 真隆 |
| 1. 開宴のことば | 実行副委員長 | 府川 清 |
| 2. お祝いのことば | パストガバナー | |
| 3. 乾杯 第9分区代理 | 大川 進 | |
| 4. 懇談 「アトラクション」 | | |
| 5. 万才三唱 ガバナノミニー | 生沼 富治 | |
| 6. 閉宴のことば 祝宴副委員長 | 土肥 野修 | |
| 7. ローターリーソング 「手にてつないで」 | ソングリーダー | 吉光 関爾 |

来賓・招待者御芳名（順不同）

ガバナー	山 道 昭 彦殿
直前ガバナー	古 館 誠殿
パストガバナー	伊 藤 茂殿
同	石 渡 三 郎殿
同	細 谷 實殿
同	蔵 並 定 男殿
同	小 林 亮殿
同	濱 田 勝 彌殿
ガバナーノミニー	生 沼 富 治殿
同（1993～'94）	山 本 淳 正殿
地区幹事	宮 古 猛 志殿
第9分区分代理（次年度地区幹事）	大 川 進殿
元R. I. 副会長	湯 浅 恭 三殿
同 幹事	秋 山 清殿
同 分区分代理	岩 崎 裕 倅殿
ロータリー財団	南 郷 佳代子殿
第1分区分代理	宮 城 英 雄殿
第2 同	中 田 良 司殿
第3 同	村 上 幸 男殿
第4 同	武 田 眞 一殿
第5 同	橋 本 通殿
第6 同	黄 金 井 一 大殿
第7 同	綾 部 稔殿
第8 同	河 本 親 秀殿
第9次期分区分代理	西 田 隆殿
元分区分代理	今 井 徳左衛門殿
同	蓑 島 清 夫殿
同	高 橋 謙 作殿
同	井 上 善 雅殿
同	五 味 淳 芳殿
同	小 沢 重 治殿
同	廣 沢 善 一殿
同	梅 津 忠 雄殿

元分区分代理

スポンサークラブ会長

箱 根 同
小田原北 同
湯河原南 同
小田原城北 同
小田原中 同
足 柄 同

スポンサークラブ幹事

箱 根 同
小田原北 同
湯河原南 同
小田原城北 同
小田原中 同
足 柄 同

スポンサークラブ歴代会長

同（現・中）
同
同
同
同
同
同

地区外近隣ロータリークラブ

熱海クラブ会長

同 幹事

熱海南クラブ会長

同 幹事

網代多賀クラブ会長

同 幹事

湯河原町長

飯 山 耕 三殿

土 屋 賢太郎殿

辻 内 和 七 郎殿

荻 込 一 郎殿

常 盤 章 夫殿

辻 村 裕 好殿

野 沢 正 蔵殿

高 橋 文 夫殿

中 山 利 一殿

勝 俣 昌 純殿

田 中 穆殿

力 石 吉 郎殿

沢 孝 次殿

田 中 肇殿

玉 田 二 郎殿

小 林 栄 一殿

萩 野 新 次殿

本 田 正 八殿

小 川 和 夫殿

高 橋 忠 興殿

古 川 静 雄殿

佐 藤 和 夫殿

相 田 隆 一殿

大 村 豊 喜殿

石 井 信 吉殿

中 田 敏 朗殿

山 田 喜久雄殿

渡 辺 一 殿

相 磯 允殿

梅 原 美殿

丸 山 孝 夫殿

湯河原ライオンズクラブ会長 小松 律 夫殿

湯河原ワイズメンズクラブ会長

佐々木 一 男殿

国際ソロプチミスト湯河原会長

力石 慶 子殿

同 副会長 奥村 道 子殿

湯河原ガールスカウトリーダー

山田 好 子殿

同 副リーダー 林 純 子殿

同 東海林 珠 枝殿

同 露木 正 代殿

湯河原農協青年部東寺会会長

室伏 和 夫殿

同 副会長 室伏 光殿

湯河原ロータリークラブ名誉会員

高橋 實殿

同 元会長 杉山 實殿

同 林 武 蔵殿

同 西山 清殿

湯河原南ロータリークラブ 青木 勉 治殿

青木 正 雄殿

青木 浩殿

石井 敏 高殿

石川 博 (大)殿

石川 博 (小)殿

石黒 一 栄殿

遠藤 亮 介殿

小沢 克 至殿

小沢 康 男殿

小俣 弘 昭殿

勝 孝 次殿

加藤 力 蔵殿

亀川 芳 次殿

掬川 三 男殿

木村 幹 良殿

小林 光 男殿

肥川 治一郎殿

杉山 貞 夫殿

杉山 卓殿

杉山 忠殿

高橋 源太郎殿

高橋 好 一殿

力石 喜美男殿

力石 由 品殿

土屋 宗 夫殿

内藤 三 郎殿

鳴島 導 宗殿

原 小 作殿

平井 敏 正殿

広沢 清 光殿

福田 俊 夫殿

丸塚 光 義殿

三輪 宣 照殿

三科 雅 敬殿

三木 聰殿

安江 孝殿

脇山 長 男殿

小沢 忠 一殿

小沢 克 侑殿

小沢 重 彦殿

報道関係

伊豆毎日新聞社殿

相豆新聞社殿

神静民報社殿

クラブの概要

- | | |
|--------------|--|
| 1. 名 称 | 湯河原ロータリークラブ |
| 2. 区 域 限 界 | 湯河原町広町通より鍛冶屋郡道線を経て東海道線より町道4号線を北上して川堀部落を除く湯河原町
人口 約26,500人 |
| 3. 隣 接 ク ラ ブ | 湯河原南R.C 小田原R.C 小田原北R.C 小田原城北R.C
小田原中R.C 足柄R.C 熱海R.C 熱海南R.C 網代R.C
箱根R.C |
| 4. 創 立 | 昭和37年4月20日(1962) |
| 承 認 | 昭和37年5月7日(1962) |
| 伝 達 式 | 昭和38年3月29日(1963) |
| 特 別 代 表 | 宮坂寛次郎 |
| スポンサークラブ | 小田原R.C |
| 5. 事 務 所 | 湯河原町宮上623 天野屋本館内
電話 0465(62)2121 |
| 例 会 場 | 同上 |
| 例 会 日 | 金曜日 0:30 p.m. ~ 1:30 p.m. |
| 理 事 会 | 毎月第一例会日 11:00 a.m. ~ 0:20 p.m. |
| 6. 創立当初会員数 | 正会員 24名 |
| 伝達式当時会員数 | 正会員 23名 アディショナル正会員 1名 |
| 現在会員数 | 会員 44名 内 シニア・アクティブ会員 12名 |
| 名誉会員数 | 1名 |
| 会員の年齢構成 | |
| 構 成 | 1992. 4. 1 現在 |
| 30 ~ 40 | 1名 |
| 41 ~ 50 | 13名 |
| 51 ~ 60 | 6名 |
| 61~70歳 | 14名 |
| 71歳以上 | 10名 |
| 計 | 44名 |
| 最 年 長 | 86歳 |
| 最 年 少 | 38歳 |
| 平均年齢 | 59.34 歳 |
| 会 費 | 1年¥236,000円とし、年4回分割払込(7、10、1、4月)とする。 |
| 入 会 金 | ¥30,000 |

湯河原ロータリークラブ歴代役員表

代 数	年 数	会 長	副 会 長	幹 事
初 代	1962~63	天 野 弘 之	小 沢 栄三郎	加 藤 福 松
二 代	1963~64	天 野 弘 之	小 沢 栄三郎	加 藤 福 松
三 代	1964~65	小 沢 栄三郎	直 居 重 雄	八 亀 昌 美
四 代	1965~66	直 居 重 雄	檜 原 正 愛	杉 山 実
五 代	1966~67	檜 原 正 愛	八 亀 広 蔵	五 味 淳 芳
六 代	1967~68	八 亀 広 蔵	相 沢 安 信	稲 葉 隆
七 代	1968~69	高 橋 柳 吉	加 藤 福 松	三 輪 宣 照
八 代	1969~70	吉 光 閔 爾	平 間 茂 夫	八 亀 民 夫
九 代	1970~71	加 藤 福 松	大 久 保 甫	浅 田 真 章
十 代	1971~72	八 亀 昌 美	稲 葉 隆	林 武 蔵
十 一 代	1972~73	杉 山 実	五十嵐 寅 治	岩 井 徳 太 郎
十 二 代	1973~74	浅 田 真 章	丹 羽 康 之	石 川 雅 雄
十 三 代	1974~75	林 武 蔵	菅 原 宏	西 山 清
十 四 代	1975~76	稲 葉 隆	及 川 修 助	西 山 晃 一
十 五 代	1976~77	西 山 清	岩 井 徳 太 郎	春 宮 寛 治
十 六 代	1977~78	岩 井 徳 太 郎	平 間 茂 夫	近 藤 保
十 七 代	1978~79	平 間 茂 夫	吉 田 充	高 知 尾 朝 行
十 八 代	1979~80	吉 田 充	大 久 保 甫	伊 藤 邦 彦
十 九 代	1980~81	大 久 保 甫	及 川 修 助	西 山 晃 一
二 十 代	1981~82	及 川 修 助	黒 須 正 夫	高 橋 実
二 十 一 代	1982~83	黒 須 正 夫	室 伏 光 雄	岩 立 信 也
二 十 二 代	1983~84	室 伏 光 雄	西 山 晃 一	浜 野 一 春
二 十 三 代	1984~85	西 山 晃 一	近 藤 保	空 本 善 吉
二 十 四 代	1985~86	近 藤 保	石 川 雅 雄	鈴 木 至
二 十 五 代	1986~87	石 川 雅 雄	春 宮 寛 治	天 野 邦 英
二 十 六 代	1987~88	春 宮 寛 治	空 本 善 吉	府 川 清
二 十 七 代	1988~89	空 本 善 吉	伊 藤 邦 彦	小 松 雄 成
二 十 八 代	1989~90	伊 藤 邦 彦	岩 立 信 也	浅 田 真 隆
二 十 九 代	1990~91	府 川 清	熊 野 浩 三 郎	伊 藤 伸 之
三 十 代	1991~92	高 知 尾 朝 行	木 村 竹 次	八 亀 義 臣

◎ 出席優秀クラブ



湯河原クラブは創立以来、出席優秀クラブとしての伝統を持ち続けています。
そのため幾多の表彰を受けました。 (1992. 3月)

会員の出席率

1964～1965年度	98.47%	10位
1966～1967年度	99.41%	8位
1968～1969年度	99.82%	3位
1970～1971年度	99.88%	3位
1971～1972年度	99.71%	3位
1972～1973年度	99.30%	6位
1973～1974年度	99.87%	3位
1974～1975年度	99.56%	10位
1975～1976年度	99.86%	8位
1976～1977年度	99.65%	1位
1977～1978年度	100.00%	1位
1978～1979年度	100.00%	1位

1979～1980年度	100.00%	1位
1980～1981年度	100.00%	1位
1981～1982年度	100.00%	1位
1982～1983年度	100.00%	1位
1983～1984年度	100.00%	1位
1984～1985年度	100.00%	1位
1985～1986年度	100.00%	1位
1986～1987年度	100.00%	1位
1987～1988年度	100.00%	1位
1988～1989年度	100.00%	1位
1989～1990年度	99.77%	
1990～1991年度	100.00%	1位



出席優秀表彰の他にも、ロータリー財団10.000%達成クラブ、ロータリー財団寄付優秀クラブ（会員1名当り126.27ドル）、会報優秀クラブ等々の表彰を受けました。



出席優良会員表彰

25年以上

天野 弘之、 高橋 柳吉、 加藤 福松、 吉光 闕爾、 八亀 昌美、 平間 茂夫、
菅原 宏、 丹羽 康之、 大久保 甫、 稲葉 隆

24～20年

吉田 充、 岩井徳太郎、 及川 修助、 西山 晃一、 熊野浩三郎、 室伏 光雄、
空本 善吉、 石川 雅雄、 春宮 寛治、 伊藤 邦彦

19～15年

柏木頼太郎、 木村 竹次、 近藤 保、 山下 貞夫、 高知尾朝行

14～10年

府川 清、 鈴木 至

9～5年

浅田 真隆、 伊藤 伸之、 小松 雄成、 室伏 安雄、 八亀 義臣

湯河原クラブの出席率の良いことは今では有名になっているようだ。100%を十年以上も続けるとは信じられないと言う人もあるようです。然しそれが習慣になってしまえば、あまり困難なことではありません。病気で休む人が時にはありますが、それはクラブの出席率には加えられない便法があるわけですから、元気な人は何とかメイクアップして、他のクラブの人との交友好を深めるわけであります。ですがその習慣が全会員に身につくまでには相当の年月を要しています。例会に出席することを無上の楽しみとしていたチャーターメンバーで、全会員に相当にらみをきかせていた、今は亡き会員の二十数年間にわたる無言の奨励がこのように良い習慣を醸成したものと信じています。

合掌。

湯河原ロータリークラブ30年ダイジェスト



創立総会

楢原さん、中根さん、直居さん、伊藤さんなどなつかしい顔が見える。



認証状伝達式

中央に立って居られるのが当時の湯浅ガバナー

認証状伝達式



認証状伝達式への参加者は千名を超え当時としては記録的な数で、大会は大いに盛り上がった。この写真は前頁下の写真の後方に当る。



道案内



認証状伝達式を祝して湯河原、芸妓連の踊り